

13市町以外の市町村では、約7,900メッシュのうち55 dB 以上60 dB 未満のメッシュが7,402メッシュ、93.7%と高い割合を占め、次いで60 dB 以上65 dB 未満が467メッシュ、5.9%、65 dB 以上70 dB 未満が31メッシュ0.4%となっており、70 dB 以上のメッシュはみられない。

なお、県全域の環境騒音レベル別推定居住人口は、60 dB 以上65 dB 未満のレベルに約84万人、42.1%と最も多く、次いで、55 dB 以上60 dB 未満に約63万人、31.3%、65 dB 以上70 dB 未満に約49万人、24.5%、70 dB 以上に約4万人、2.1%となっていて、多くの人が「うるささ」を感じるとされる環境騒音レベル65 dB 以上の地域に合計約53万人、全県人口の26.6%が居住しているものと推定される。なお、別に添付している「環境騒音現況分布図」は昭和53年度における環境騒音の現況を3段階に区分して示したものである。

## 2. 将来予測

昭和65年度の環境騒音については、土地利用状況、自動車交通量、人口などの予測資料に基づき、現況推計に用いたメッシュ単位に推計した。

環境騒音レベル分布状況をみると、昭和53年度に比べ、全県的に60 dB 未満のメッシュが減少し、60 dB 以上のメッシュが増加する。特に、65 dB 以上のメッシュ数は13市町では82メッシュ、その他の市町村においても18メッシュ増加するものと予測される。

また、県全域の環境騒音レベル別推定居住人口としては、65 dB 未満のレベルに居住する人口は昭和53年度の約146万人から183万人に、65 dB 以上のレベルに居住する人口は昭和53年度の約53万人から約73万人になるものと予測される。

環境騒音レベル別推定メッシュ数

Leq(昼間値) dB(A)	「13市町」				「13市町」以外の市町村			
	53年度		65年度		53年度		65年度	
	メッシュ数	構成比(%)	メッシュ数	構成比(%)	メッシュ数	構成比(%)	メッシュ数	構成比(%)
55以上60未満	4,882	77.8	4,789	76.3	7,402	93.7	7,284	92.2
60以上65未満	867	13.8	878	14.0	467	5.9	567	7.2
65以上70未満	493	7.8	544	8.7	31	0.4	49	0.6
70以上	37	0.6	68	1.0	0	0	0	0.0
計	6,279	100	6,279	100.0	7,900	7,900	7,900	100.0

Leq(昼間値) dB
55以上60未満
60以上65未満
65以上70未満
70以上
計

なお、別に添付して  
昭和65年度において容認  
理の結果を示したもの

## 第3節 環境

### 1. 環境保全水準の

環境騒音に係る環境  
の保護に資するうえで  
環境基準値を基礎としな

この場合評価単位と

① 面的な広がりを

② 複合騒音につい

③ 騒音の時間的、

などの効果を有するL

ベル(以下「Ldn」と

本計画における環境

と特に静穏を要する地

域(A地域)について

域(B地域)について